鍛造ホイールの贅沢は小さいクルマだって味わえる

英国車のミニをはじめ、多くの人気モデルが揃うコンパクト市場
どうやらクルマの性能だけでなく、取り巻く周囲の環境も変化しつつあるようで…

㈱TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY　tel.0766-86-0117　www.tws-forged.com/

20年ほど前17インチは大口径に分類され、19や20インチのホイールはもちろん、それらを履けるクルマも少なかった。しかし、ここ10年の間に状況は一変し、純正ホイールのサイズが18、19インチはもはや普通で、20インチを超える場合すらある。これはタイヤやサスペンション、ホイールの性能が上がったから可能になったことであり、細かく言えばクルマのボディ剛性が高くなったことなども影響しているという。

だから現在はハッチバックを始めとするコンパクトモデルであっても、18インチ以上のホイールをそのまま履くことができる。そしてそれに合わせ、対応するホイールも増えつつあるため、様々な製品が選べるようになってきている。

そうした中でもウレシイのは、一部の高級モデルにデリバリーされている鍛造ホイールがコンパクトモデルに合うサイズでの展開が始まった点。ご存じの方も多いと思うが、鍛造ホイールは型を作ってアルミ素材を流し込む鋳造とは違い、製造工程が複雑である。そのため鋳造ホイールのようにフットワーク良く新製品を作れるものではない。特にTAN-EI-SYAのマグネシウム鍛造技術は、F1チームの10チーム中9チームに採用されている、いわば世界最高峰の贅沢なホイールである。しかし、2017年モデルでは18インチ、19インチのコンパクトモデル専用デザインの「115Fモノブロック」という製品がラインナップに加わった。

ミニ、フォルクスワーゲン ポロ、アウディA3といった、都市部に住むEDGE読者にとっても非常に身近なこれらモデルたちは、走りに影響する部分だけでなく、デザイン、質感、安全性能も上がり、従来以上に長く付き合える存在になっている。鍛造ホイールのような贅沢品は一部の特別なモデルだけが履く、そんなイメージはもう古い。長く乗れるコンパクトを手に入れたなら、専用設計の嗜好品も手に入れる。そんな楽しみ方も悪くないはずである。

鍛造ホイールが贅沢な理由

F1、WEC、インディーカーといった世界最高峰のレースに参加するチームへの供給も行っているTAN-EI-SYA。その高い要求に応えられる性能、品質を与えるために世界でも数えるほどしかない8000tの油圧プレスマシンを使用し、時間をかけて一本一本をプレス。そしてプレス後も削り出し、研磨といった各作業に職人技ともいえる技術を駆使し、美しさと剛性、軽さを持つ製品が仕上げられていくのである。

TWS EXlete 115F Monoblock

価格：8万2000円～10万6000円
サイズ：18～19インチ
カラー：フラットブラック、
グロスブラックカットフィニッシュ

コンパクト用の専用設計となる115F モノブロック。鍛造1ピース構造で、キャリパーのクリアランスで有利な「フラットディスク」と、センターの落とし込みを強調する「コンケーブディスク」の2タイプが用意されている

170527_TWSタイアッ□.indd 2-3
17.6.6 8:29:37 PM